

Disce社共催セミナー

2019.11.26

Articulate360活用セミナー

# マイクロラーニング、業務マニュアルの 作成ノウハウ&活用事例



 HUMAN SCIENCE

© Copyright Human Science Co., Ltd. All Rights Reserved.

# ○ ヒューマンサイエンスのご紹介

## ● 設立

1985年3月16日  
マニュアル開発で創業

## ● 社員数

120名

## ● オフィス

- 東京本社（東京都新宿区）
- 名古屋オフィス（愛知県名古屋市）
- サンフランシスコ（San Francisco, USA）

## ● 事業内容

- マニュアル制作
- 教材制作
- 翻訳 他



# ○ 自己紹介

Ryuno Keigo

**立野 慶吾** 株式会社ヒューマンサイエンス

教育ソリューション部 コンサルティンググループ/  
ドキュメントソリューション部 テクニカルコミュニケーショングループ

- コンサルタント
- ラーニングデザイナー (eLC認定 e-Learning Professional)



社内研修講師、Webデザイナー等の経験を経て入社。

eラーニングコンテンツ開発、デザイン設計、内製支援等に従事する。海外留学経験を生かし教材の翻訳・ローカライズプロジェクトや、ラーニングデザイナー資格 (eLC認定) に基づく教材企画・設計、動画教材の開発等、eラーニング開発や人材開発に幅広く携わる。



## ○はじめに

---



- **Articulateユーザー**として
- 多数の企業様の教育にかかわってきた実績をもとに
- まだユーザーが少ない**Rise 360**を中心に



Chapter 1-1.

# 比較 ① Storyline / Studio / Rise



# どのツールが良い／悪いではない

まずはそれぞれの特徴を知ってみましょう。

# ○ 見た目の差



Rise



Storyline & Studio



=スクロール (WEB) 型

=スライド型

# ○ 構成力



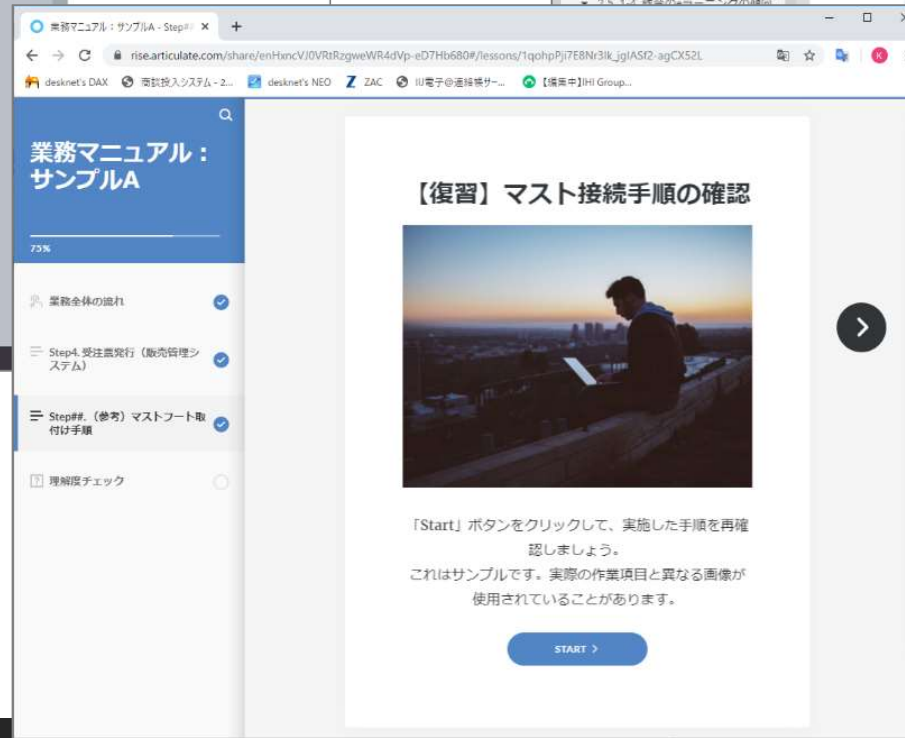
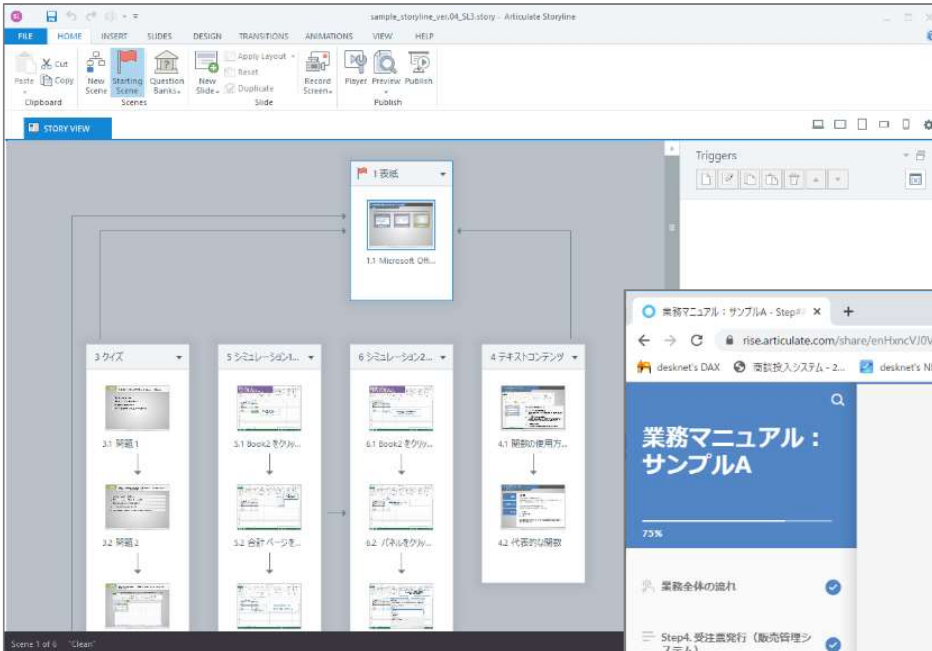
Storyline



Rise



Studio





# ○ カスタム性



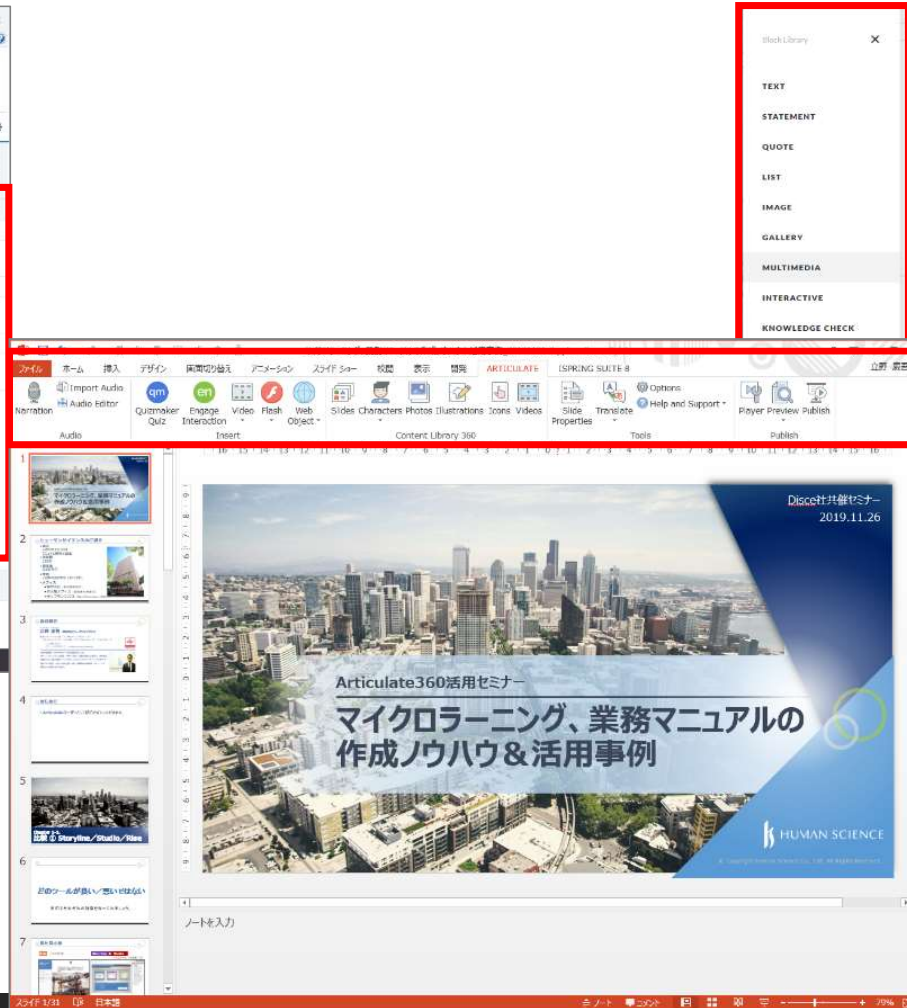
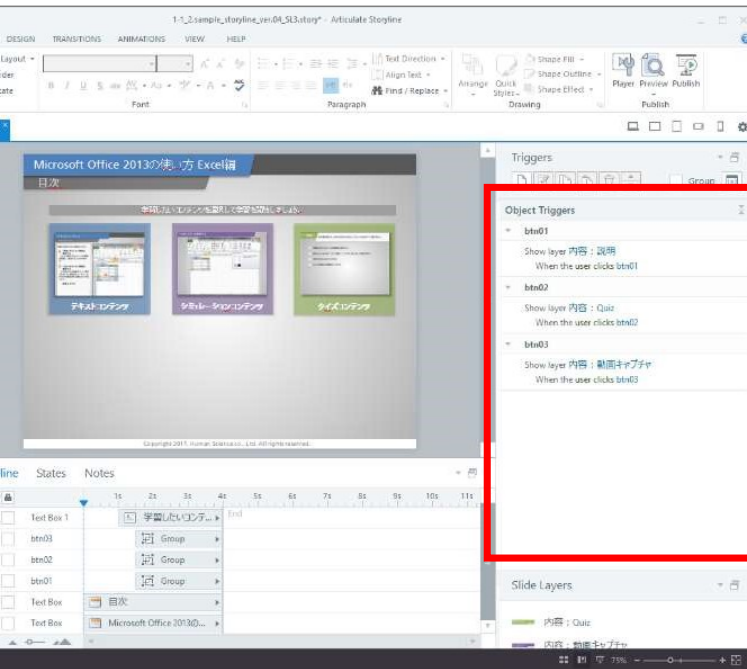
Storyline



Studio



Rise



# ○カンタンさ



Rise



Studio



Storyline



レイアウトもデザインも  
考えなくていい

できることが  
非常に多い

PPTがあれば  
カンタン

## ○ 比較① まとめ



	Storyline	Studio	Rise
見た目	★ ★	★ ★	★ ★ ★
構成力	★ ★ ★	★	★ ★
カスタム性	★ ★ ★	★	★ ★
簡単さ	★ ★	★ ★ ★	★ ★ ★

# 特徴を知ることによって活用できる

## Storyline

= **プロ仕様**（他社ツールに比べるとカンタン）

複雑な構成（分岐）、ソフトウェア操作シミュレーション、  
TriggerやSlide Layerを使用した複雑な表現（高いカスタム性）

## Studio

= **PPTベースで編集しやすい**

PPT素材がある。誰でも編集できるようにしたい。

## Rise

= **簡単操作でスマホにも最適化。**

カンタンに作って・気軽に見てもらう。  
モバイルファーストオーサリングツール。



Chapter 1-2.

比較 ② Rise / 動画 / ドキュメント制作管理ツール

## 動画



😊 手順を正確に伝えられる。  
撮影は簡単。

😞 編集技術、検索性、一覧性

## Confluence

Confluence スペース ▼ 離職ディレクトリ ▼ ユーザー Learning center 作成 ... 検索

ページ / 技術チーム

### 業務マニュアルサンプル (2019.11立野)

立野実習が作成し少し前に最終更新

#### 2. 業務フロー

新規契約～受注業務全体のフローは以下の通り。

業務	概要	関連部署 (システム)
契約内容の確認	営業担当者は、売買契約書案を作成し、取引先と契約内容の確認・調整を行います。	
重要申請・決済	取引先との調整が済んだら、議議書を作成して総務部へ提出し承認を得ます。	総務部
契約締結	売買契約書2部を用意し、1部を取引先に提出し、契約締結します。もう1部を総務部へ提出します。	総務部
受注票発行	営業担当者は、取引先から注文書を受け取り、受注票を作成します。	(販売管理システム)
在庫状況確認 出荷予定日連絡	営業担当者は、販売管理部に在庫状況を確認し、取引先に出荷予定日を連絡します。	販売管理部

#### 2.4 受注票発行

- 規約・条文 職務権限規程、販売管理規程
- 帳票・台帳 注文書、受注票

😊 詳細な手順説明。版管理・共同編集。  
作成 & 配信ができる。

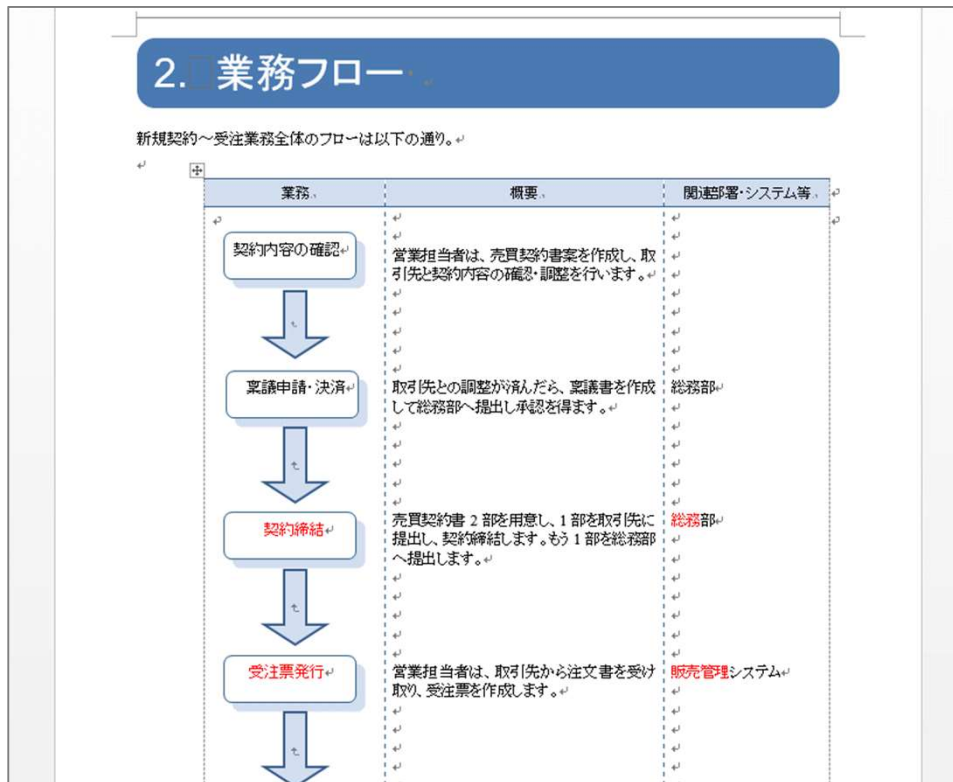
😞 表現力、気軽さ



Word



Rise



- 😊 誰でも作れる。表現力高い
- 😞 管理が難しい

[社内教育] ISMSミニコンテンツ Lesson2  
Created By Masahito Nakai - Current Version

### 指定のファイルシェアソフトを利用する

顧客とファイル交換をするときは、FTPサーバ、または desknet's DAXを利用してください。Windows10のOneDriveのようなファイルシェアソフトを業務で利用しないよう注意してください。※やむを得ず業務上、利用が必要な場合はISMS委員に報告し、許可を得てください。

### 業務委託時のデータ送受信ルール

外部の企業や個人に業務を委託する際、データの送受信にFTPサーバを利用する時はSFTPプロトコルの利用をお願いします。

※業務終了後、業務委託先の企業や個人の方に預けたデータの破棄、および破棄した記録を提出してもらおう依頼してください。

郵便物を送る際のルール

- メリット・デメリット
- ※ 次ページでご紹介

## ○ Rise メリット

- **デザイン、レイアウトが自動**
- **高いライティングスキル不要**
- **スマホファースト設計**  
※文字が小さくならない、レスポンシブ
- **Reviewでかんたん公開**  
※コメントもシェアできる
- **LMS / Webサーバ / PDF、  
様々な書き出し形式**
- **共同作業ができる**
- **Google翻訳が有効**

## & デメリット

- **Rise単体で配信管理機能を持たない**  
※既存のシステムと競合しない。  
大手のLMS (SF,SABA,CSなど) が推奨
- **ソフトウェア操作系は不向き**  
※表現統一のための使用は可能。  
(Storylineコンテンツ組み込みなど)
- **情報量が多いものには不向き**
- **Undoがあまりできない**  
(Ctrl+Zなどでの操作戻し)





## Chapter 2. Riseの活用



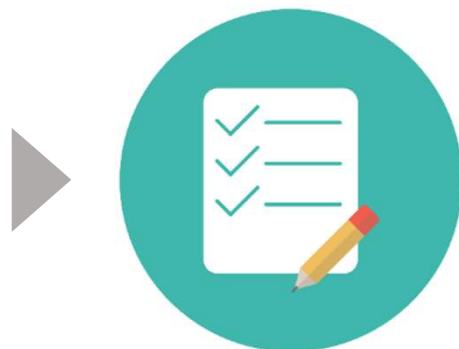
# Riseの特徴を活かす方法とは？

# ○ 事例 1

## プロセス浸透チェック&フォロー



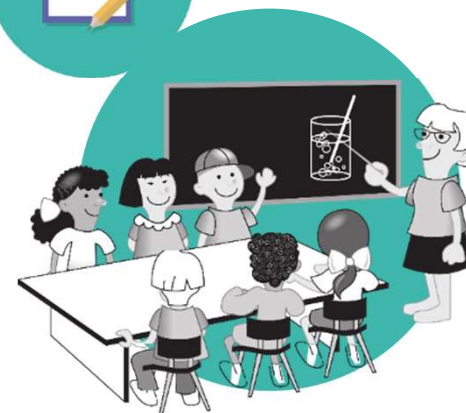
業務手順が明文化されている



マイクロクイズで、  
現場の浸透度チェック



弱い部分を補強  
(マイクロラーニング/研修 他)



組織の課題を発見して、ピンポイントで解決できそうね。  
課題に応じて、補強プランは検討が必要だわ。



## ○ 事例 2

### 補足・補強プロセス



改善を周知・徹底するための  
ピンポイントコンテンツ

自分たちで作るスピード感に価値がありそうだな。  
配信はLMSでもいいかな。

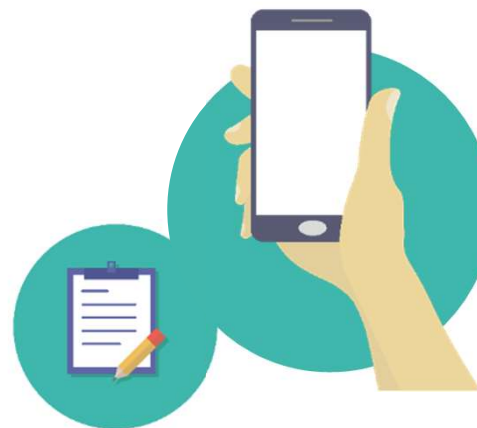


## ○ 事例 3

### カンタン振返りプラン



迷ったときにサッと確認できる  
社外（スマホ）からも見れる



中堅社員でも忘れがちなところがあるよね。  
一般の動画サイトよりも安心感があるかしら。



## ○ 事例 4

### ルーティン外の業務支援



非日常的に発生する作業



「締日はxx日だよ！」  
→「やり方はこうだったね！」



見えないところで掛かっている工数ってあるよな。  
SNSのリマインド機能も使えるかな。





## Chapter 3. さいごに

# ○ ヒューマンサイエンスのサービス



## • 教材制作

- 各種教材制作／システムリプレースに伴う教材移行
  - 教材企画、ライティング
  - Articulate 360、Animate CC、Captivate、iSpring 他
  - 動画教材・動画マニュアル制作

## • 原稿販売、コース販売

- eラーニング原稿・コース販売
  - 情報セキュリティ、コンプライアンス、ビジネスマナー 他

## • システム導入 (LMS)

- moodle / Totara Learn (クラウド)
- 導入支援、運用





---

- **業務標準化の支援**

1. 伝える目的の明確化
2. 業務フローの可視化
3. 業務最適化
4. 業務標準化

- **業務・作業マニュアルの作成支援**

- 誰が読んでも同じ理解になる
- テクニカルコミュニケーションの観点で、わかりやすく伝える

- **マニュアル評価、内製支援**



---

- **マニュアル制作**

- IT機器・サービス、その他製品マニュアル

- **翻訳**

- 日英翻訳、英日翻訳、40言語+の多言語翻訳
- 医療系翻訳

- **機械翻訳**

- 自動翻訳ソフト「Mtrans」
- ニューラル機械翻訳導入支援

- **AIアノテーション**



**Riseを使うことで、  
どんな可能性が生まれるでしょうか。**

**抱えている課題を、  
ぜひアンケートにてお知らせください。**



# ご清聴ありがとうございました。



**東京本社**……………〒163-0710 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル10階  
TEL 03-5321-3111 FAX/03-5321-3112

**名古屋オフィス**……〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-2-3名古屋日興証券ビル4階  
TEL 052-269-8016 FAX/052-269-8017

営業担当：近藤 彩帆  
e-mail：s-kondo@science.co.jp  
Website：https://hs-learning.jp/